【３】リスクの把握（法人としての被災想定）

法人としての被災想定は下記の通り。
法人本部主催の研修・訓練については、基本的には本ページの被災想定をもとに行う。

Check 事業所ごとのリスクの把握は、ハザードマップを活用して確認し「**第2章　平常時の対応**」に記載するとともに**事業所単位の研修・訓練にて社員等に周知**すること。

《前提条件》

区分	北海道渡島東部直下型地震
震源地	北海道渡島東部
規模	マグニチュード6.7　震度6強
震源の深さ	37㎞

《被害の様相》

項目			被害想定		
建物	倒　壊		木造住宅を中心に多くの建物が損壊する		
	火　災		火災が同時多発的に発生し、延焼が2日程度続く		
ライフライン	電　気		全道一帯停止　3日間		
	水　道		地域一帯停止　5日間		
	ガ　ス		地域一帯停止　5日間		
通信	固定電話		不通	携帯電話	2日間不通
	公衆電話		使用可	インターネット	使用可 (速度低下・遅延)
交通	道路	幹線	開通には、少なくとも1日～2日を要する		
		一般道	がれきが散乱、また液状化現象により復旧には1か月以上を要する		
	公共交通機関	市電	運転再開には1ヶ月程度を要する		
		市バス	運転再開には1ヶ月以上を要する		